

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.2760	2.2770	2.2820	2.2670	2.2600	-0.0070
	USD/YEN	Spot	102.20	102.26	102.43	102.45	102.36	-0.0900
	EUR/USD	Spot	1.3385	1.3368	1.3365	1.3365	1.3400	+0.0035
	BRL/YEN	Spot	44.91	44.91	44.89	45.20	45.29	+0.0900
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.04	1.03	1.08	1.13	1.20	+0.0650
		1Year(p.a.)	1.23	1.24	1.30	1.35	1.42	+0.0690
Stock	Real Interest	6MTH(p.a.)	10.91	10.90	10.92	10.84	10.89	+0.0544
		1Year(p.a.)	11.23	11.22	11.26	11.20	11.16	-0.0341
Stock	Bovespa		56,613	56,442	55,581	55,780	56,964	+1,183.24
Bond	CDS Brazil 5y		160.80	156.89	152.82	151.00	150.67	-0.3300
	Global 40		110.525	110.525	110.625	110.350	110.075	-0.2750

\*これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィスまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	ハミルトン 経済政策局長	ブラジルの第2四半期 の経済成長は必ずしも マイナスとは限らない 。
FGVインフレ率IGP-10(前月比)	-0.43%	-0.55%	-0.56%		
経済活動(前月比)	-1.50%	-1.48%	-0.80%		
経済活動(前年比)	-2.15%	-2.15%	-0.17%		

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2830 で寄り付いた。
- 週初めには地政学リスクの後退から世界的にリスク資産買いが見られた。また、ブラジル中銀が為替介入プログラムにおけるドル売りポジションのロール金額を増額したことを受け、レアルは堅調に推移した。しかし、ウクライナ情勢の悪化や独経済指標が約 2 年振りの水準まで悪化したことから、マーケットはリスクオフムードに転じ、レアルも反落。結果的には 2.27-2.28 半ばでのレンジ相場となった。
- 13 日にはブラジル大統領選出馬候補のエドゥアルド・カンポス氏が飛行機事故で死亡したとの報道を受けて、伯主要株価指数とレアルが急落した。レアルは週間安値となる 1U\$=R\$2.2890 を示現した。
- しかし、翌日にはカンポス氏に代わってマリナ・シルバ氏が後継候補になった場合、ルセフ大統領の再選可能性が下がるとの報道を受けて、新政権への期待感から伯主要株価指数が上昇した。レアルも堅調に推移し、2.28 台から 2.26 台半ばまで上昇した。
- 週末にかけては来週のジャクソンホール公演でイエレン FRB 議長がハト派的な発言をするとの期待感からドルが売られ、レアルは週間高値となる U\$1=R\$2.2590 を付けた。その後、ウクライナがロシアの装甲車両を攻撃し、一部を破壊したと発表したことを受け 2.27 台半ばまで反落したが、引けにかけては再び反発し、結局 U\$1=R\$2.2600 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



### 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
8/18	FGV CPI IPC-S	Aug-17	0.17%	0.16%
8/18	貿易収支(週次)	Aug-17	--	-\$336M
8/18	CNI産業信頼感	Aug	--	46.4
8/18	税収	Jul	--	91387M
8/18	登録雇用創出合計	Jul	7000	25363
8/19	FIPE CPI-週次	Aug-15	--	0.21%
8/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Aug	--	-0.51%
8/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Aug	0.19%	0.17%
8/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Aug	6.48%	6.51%
8/21	失業率	Jul	5.00%	--
8/22	経常収支	Jul	-\$5850M	-\$3345M
8/22	対内直接投資	Jul	\$5500M	\$3924M

### 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.23—2.30

今週は不安定なウクライナ情勢を受けて為替相場もボラタイルな展開となった。ウクライナ情勢は解決への方向性が見えず、来週も引き続き相場を不安定にする要因として作用するだろう。ブラジルではカンポス大統領選出馬候補の突然の事故死があり、非常なサプライズとなつたが、結果的には政権交代への期待感から株高、レアル高材料となつている。後任候補と目されるシルバ氏は明確に出馬を発表しておらず、今後の選挙の動向には注目が集まる。

来週は米国サイドで主要なイベントがあり、20日のFOMC議事録公表と22日のFRB議長の公演に注目が集まっているここ所、米国経済指標は月初の雇用統計から市場予想よりも弱めに出ており、FRBからはハト派的なトーンのアナウンスが出てくる可能性が強く、ドル売りの材料として意識されよう。地政学リスクの問題はあるが、総じてドル安レアル高方向のバイアスが強いと見ている。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。